

市史講座第8回ミニレポート

平成24年2月11日(土) 第8回 宍道湖の誕生と治水・災害(島根大学名誉教授 高安克己先生)が開かれました。



高安先生は、宍道湖・中海の古地理変遷を約一万年前、約八千年前、約六千年前、約三千年前、約千二百年前、約三百年前と区切り、それぞれの時期の歴史事象と対照しつつ、宍道湖・中海の形成史を図で示されました。

これら古地理の変遷図は、地層・地質を乱さず実施するボーリング・コアという科学的調査を行い、採取された堆積物・ヘドロ・有機物・貝などの物質や化学物の分析から導き出せることを、環境コア分析の流れを解説しつつ説明されました。

そして、長い宍道湖の形成史の中で海面上昇の及ぼした影響、ボーリング調査で採取された貝化石から見た宍道湖の生い立ち、斐伊川の土砂流入による変化などを話され、斐伊川と宍道湖・中海の長いかかわりと今後についても触れられました。